

【小学生の部】 最優秀賞

「地球にやさしい発電方法 ～自然の力をかりて～」

札幌市立官の森小学校 3年 ながさわ くにひろ 長澤 邦宙

地球温暖化の臨界点を越えるまで、タイムリミットはあと10年ということに、ぼくは衝撃を受けました。ぼくは毎年、冬にスキーや雪遊びをしますが、今年の雪は少なくて湿気が多く、スキー場のリフトは一部しか動かず、毎年、家のベランダにかまくらが作れるほど雪が積もるのに、いつもの半分も積もりませんでした。また、北海道の夏は、暑い日はありますが扇風機で過ごせます。でもここ数年は本当に暑くて、家にエアコンをつけないと過ごせなくなりました。これは、地球温暖化のせいなのかと感じます。

二年前の小学1年生の時、電気がないと生きていけないと感じた出来事がありました。それは、胆振東部地震が起きた時にブラックアウトになったことです。電気が一切使えなくなりました。水が蛇口から全く出ないので、トイレは流せないし、手も洗えないし、お風呂にも入れません。水を何度も運び、浴槽に貯めました。そして、冷蔵庫が使えないので、冷やしておく食べ物が食べられなくなりました。中でも一番大変だったのが、懐中電灯とろうそくだけで二晩過ごしたことです。懐中電灯とろうそくの灯りは、想像以上に暗くて、とても怖く感じました。全く電気が使えない体験をして、ぼくは電気のありがたみを実感しました。そして、電気がないと生きていけないのだと思いました。しかし、地球温暖化の原因について知ると、節電だけでなく、地球環境に悪い影響を与える発電方法は変えていくことが必要だとわかりました。そこで、地球にやさしい太陽光発電キットを作り、使ってみることにしました。

満充電したバッテリーで、自分がいつも使うLEDライトと扇風機が何時間動くか比べてみました。LEDライトは494分、扇風機は272分で、自分が予想したよりも使える時間が長いと思いました。でも、満充電にするために、1回目は4日間、2回目は11日間もかかりました。このことから、太陽光を使った発電方法だけでは生活はできないと思いました。次はもっと大きなパネルを使ってみたり、そしてこれからは、太陽光発電がもっと身近に簡単にできる技術がうまれると思うし、ぼくも、地球環境にやさしい発電方法をつくってみたいと今回の学びで思いました。

ブラックアウトの時、夜に満天の星が見えました。いつもなら周りの灯りで星がほとんど見えないのに、とても綺麗でした。人間は、この地球という星を人工的なものばかりに頼らないで守っていく必要があると思います。